

# CIGS 財政・社会保障シンポジウム

## 「財政リスクの論点整理と国民の選択肢」

### <開催趣旨>

消費税率の8%から10%への引き上げが再度先送りされたこと、2018年4月の診療報酬・介護報酬同時改定の審議開始が近づいていること、子育て支援が大きな政治課題になっていること等から、わが国の財政リスクと社会保障財源確保の問題に対する国民の関心が高まっている。そこで本シンポジウムでは、人口減少時代の政策決定のあり方、財政リスクの現状評価と将来見通し、年金・医療・介護の財源確保といった主要論点を各専門家が解説した後、シンポジウム参加の方々との質疑応答を含めた、パネルディスカッションを行う。

### <開催概要>

日時：2016年12月2日（金）13：00～17：30

会場：東京ステーションコンファレンス 501AB（千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5F）

### <プログラム>

13：00 - 13：10	<b>開会の挨拶</b> 福井俊彦 キヤノングローバル戦略研究所理事長
13：10 - 13：40	<b>講演「人口減少時代の政策決定」</b> 森田朗 国立社会保障・人口問題研究所所長
13：40 - 14：10	<b>講演「財政の現状と課題」</b> 吉川洋 立正大学経済学部教授、キヤノングローバル戦略研究所アドバイザー
14：10 - 14：40	<b>講演「日本の財政破綻：今そこにある危機」</b> 佐藤主光 一橋大学政策大学院教授
14：40 - 14：50	休憩
14：50 - 15：20	<b>講演「年金改革—積立方式への移行はできる」</b> 小黒一正 法政大学教授、キヤノングローバル戦略研究所主任研究員
15：20 - 15：50	<b>講演「公的医療保険を二階建てにする」</b> 松山幸弘 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹
15：50 - 16：05	休憩
16：05 - 17：25	<b>パネルディスカッション（会場からの質問票に基づく）</b> 司会：小林慶一郎 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹 パネリスト：森田朗、吉川洋、佐藤主光、小黒一正、松山幸弘
17：25 - 17：30	<b>総括と閉会の辞</b> 小林慶一郎 キヤノングローバル戦略研究所研究主幹